

講座 No 1 4 凝視について（初中級向け）実践編

著 drapom

- ・今回は、ここは見ておくべきだろうというポイントやタイミングを絞って解説します！
- ・また、それぞれのポイントで「繋がっているか」「暴発しているか」など確認しましょう

① 折り返しを組む際。

折り返しという部分は隙が発生しやすい部分であるため

相手の狙いを確かめるために凝視を行います。

結果、相手側が同時消しの潰しを構えている場合に備えて手を変えることができます。

こちらが折り返しをするときは勿論、相手側が折り返しをする際に凝視ができればなお良いと思います。

また、折り返しという部分は「多重折り」がし易い部分でもあり中盤技術の起点として重要な部分でもあります。暴発や誘発、意図していないものや意図したものもありますので確認は慎重に。

② 催促、潰しを送るとき

こちら側が何かしらアクションを起こす際は相手の状況を把握してから行動を起こすクセを付けましょう。

最初はとても難しく感じると思いますがこのクセを付けていくと、後々とても役に立ちます。丁寧な凝視こそが勝利への道。

③ 相手が何かアクションを起こしてきた際。

相手から連鎖や単発が送られてきた際、どれくらいの量が送られてきているか。本当は、相手からの考えられる手を読んだ後に「ここから攻撃が来そうだな」と想像を膨らまして、相手側からの攻撃に備えておくことができれば、一番良いと思います。

予め発火点をよく見ておき、副砲か本線なのか確認しておきましょう！

連鎖数や連結量なども把握できているとベストです。が、難しいので少しずつ練習。

④ 連結が多い部分。

連結というものは扱いは難しいものの、その存在は驚異的です。

攻撃量が大きくなりやすい部分でもあり、時に暴発など意図しない連鎖が起きることもありえます。そして、大きめの単発なども起こりやすい。

中盤の初めはこういった部分から始まることが多いと思われます。相手の意図なども把握しきって、予測立てることが大切です！

細かい部分で上げていけばキリがない凝視技術。これらの技術と知識を元に、勝利に繋げていくための凝視をしていきましょう！ -おわり-